

紹介の仕方 (Ways of Introduction)

フー・ミンズイ (Taurus Feng)

82-271 : Intermediate Japanese I

この作文では、中国と日本の紹介の仕方について書こうと思う。日本では、紹介する時に、姓で紹介する人が多い。初めて会った時には、相手の年を知らなかったら、敬語を使ったり、おじぎをしたりする。年や身分を知っていたら、目下や年下の方は、目上や年上の方に、もっと深くおじぎをする。そして、名刺の使用がとても多い。でも、中国では、まず、紹介する時にフルネームを使う。次に、若い人に紹介する時は、おじぎをしないと思うが、老人には、時々おじぎをする。でも今は、握手の場合が多いと思う。最後に、日本でも中国でも、敬語と名刺をよく使う。紹介の仕方は、国によって違う。でも、中国の文化は、日本の文化と似ていることがよくある。それに、私は、中国でも韓国でもアメリカでも住んでみたから、違う文化の勉強はとても面白いと思う。ある時には、日本人の友達に、「日本では、電車で携帯電話を使ってはいけない。」と聞いて、ちょっとびっくりした。だから、他の国の習慣を知らなかったら、失礼なことをしてしまうかもしれない。そう言うことで、他の国の文化が分かることは、きっといい勉強になると思う。結論として、違う国の文化は違うので、他の国の文化を尊重するために、他の国の文化を勉強した方がいい。

あいさつ言葉の比較 (Comparison of the Greeting Words)

フー・ミンズイ (Taurus Feng)

82-271 : Intermediate Japanese I

この作文では、日本とアメリカと中国のあいさつ言葉について書こうと思う。日本では、あいさつをした時、よくお天気の話をする。そして、日本人は同じ日に二回目に会った人に、もう一度あいさつせずに会釈をする。それから、日本語には、他の言語にはない決まり文句になったあいさつ言葉がある。適当な時には適当な話をするのは大事な社会教育だ。しかし、あいさつ言葉は、国によって違う。まず、アメリカでは、あいさつの後、「この一日はどうでしたか。(How was your day?)」と話をする。中国では、あいさつした時、仕事や勉強の状況をよく聞いて、相手の生活に、気を配る感じがある。次に、日本と違って、アメリカでは、同じ日に何回目に会ってもあいさつをする。中国では、この場合にとって、あいさつについて、ルールになっていることはないから、あいさつをするのもしないのでもいい。最後に、アメリカでも中国でも、日本にはないあいさつの決まり文句がある。「How are you doing?」とか「食べましたか。」などユニークな決まり文句を言ったら、本場の英語や中国語を言えると思う。この三つの国には、自分の文化と歴史がある。だから、一つの表現の手段として、あい

さつ言葉で、この国の色々なことが分かる。それで、表面だけの比較をしないで、もっと深くこの国のことを理解するのは必要だ。結論として、まずあいさつ言葉を勉強するのは、日本文化を理解できる最初の一步である。

依頼の仕方 (Ways of Making a Request)

フー・ミンズイ (Taurus Feng)

82-271 : Intermediate Japanese I

この作文では、日本への留学するために、必要な準備について書こうと思う。留学する前に、先生に推薦状をお願いする。依頼する時に、日本人は躊躇いがちに、文を途中までしか言わない。そして、依頼の内容を言うか言わないか、相手の顔を見て決める。日本語では、依頼を丁寧に言うために、可能否定形がよく使われる。しかし、日本も中国も東アジアの国だが、中国語の依頼をする習慣が、日本ととても違う。特に、最近若者の習慣は西洋に影響されているから、老人達の依頼の仕方が日本人によく似ているが、若者達は全然違う。まず、中国でも、依頼する時に、文を途中まで言えば、相手は、「何をしたいか？」を察してくれるかもしれない。しかし、職場では、「自分が何が欲しい」をちゃんとやらなければ失礼だ。第二に、依頼の内容を話した時に、可能形をよく使うが、可能否定形をあまり使わない。中国語では、否定形で依頼するのは、「何か文句があるの？」と言う感じがあるので、丁寧じゃないと思う。最後に、困っている状況だけ説明して、相手に依頼の内容を察してもらうのは、中国語でも日本語でも同じだ。実は、中国では、依頼する時に、ルールになった仕方がない。丁寧に、自信を持って、自分が欲しい物をちゃんと伝えればいい。そして、自分と相手のステー

タスによって、適当な言い方と言葉を使えばいい。だから、結論として、依頼する時には、心に感謝している考えがあって、礼儀正しく言ったら、どこでも何の言語でも、丁寧な仕方だと考える。